

国語科学習指導案

1 単元名 次期王は誰だ？シラクス町内会議 登場人物の言動に注意して読もう

2 単元目標

- (1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
- (2) 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

3 本単元における言語活動

登場人物の言動に注意して読み、次期王にふさわしい人物を考える活動。

(関連：[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ)

4 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------------------------|---|--|
| ① 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。(2)イ | ① 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。(C(1)イ) | ① 積極的に「走れメロス」を読み、登場人物の言動から、王にふさわしい人物が誰かを考えようとしている。 |

5 単元について

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、「走れメロス」を登場人物の言動に注意して読み、次期王にふさわしい人物を考えるという言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成 29 年告示）の第 2 学年、[思考力、判断力、表現力等] C 読むことの言語活動例ア「詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝えあったりする活動」を踏まえている。

「走れメロス」は、1956（昭和 31）年度使用の教科書に採録されて以降、長年親しまれている教材である。メロスの怒り、焦り、絶望、そして信念に満ちた感情の揺れ動きが、丁寧に描写されており、彼が友を信じ、困難な状況にもかかわらず約束を果たそうとする姿は、英雄としてだけでなく、苦悩する一人の人間として描かれている。また、セリヌンティウスの覚悟や、ディオニスの変化など、他の登場人物たちの言動も詳細に描写されているため、多様な読みが可能であると考えられる。

そこで、本単元では、生徒がシラクスの民になったという設定で、次期王にふさわしい人物は誰かを考えることで、生徒は登場人物の言動を根拠として物語を深く解釈するきっかけになると考えた。次期王を選出するためには、「国をどのようによくしてくれる人物か」、「民にとってどのようなメリットがあるか」を考える必要がある。登場人物の言動を根拠として物語を解釈する活動を通して、今後、物語文を読む際に、より深い読みを促すための一助としたい。

(2) 本単元で身につけさせたい力

本単元では、次期王にふさわしい人物を考えるという言語活動を通して、学習指導要領の[思考力、判断力、表現力等]C(1)イ「目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること」ができる力の育成を目指す。学習指導要領解説には、「登場人物の言葉や行動が、話の展開などにどのように関わっているかを考え」て内容を解釈することを求めている。つまり、解釈をするには、根拠となる言動と自分の意見を結び付けて考える必要がある。これを図式化し可視化することによって、生徒は思考を整理しやすいと考えた。今後、他の文学的文章の解釈にも、活用できるようにしていきたい。

また、今回は、本文の終末から数年後という設定で活動を行う。物語の後日談を解釈するためには、本文中の言動に着目して読むことが必要である。人物の言動が話の展開にどのように関わっていくのかを考えながら人物の言動を読み取り、級友と交流することで物語の解釈の多様性に気づかせたい。

生徒は中学校卒業後、実社会での選挙において、候補者の公約や政策、演説を参考に投票する理由を考え、支持する候補者を選び投票を行うことになる。社会生活にも活かせるように内容を解釈する力を育てていきたい。

(3) (1)の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

本学年では文学的文章の学習において、第1学年の学習では、「少年の日の思い出」の学習を通して、登場人物の視点を変えて物語のリライトを行う活動を行った。第2学年の学習では、「アイスプラネット」の学習を通して、登場人物の言動に着目し、レーダーチャートを使って整理することで人物像を整理した。「ヒューマノイド」では、繰り返し出てくるものや複数の場面で起こった出来事などに着目して伏線を見つけ、作品の展開を捉えた。これらの既習事項をもとに、本単元では、ワークシートに自分で選択した登場人物の情報を整理し、それらを根拠として意見を交流し合う活動を行う。また、単元内で行う投票についてはフォームを用いて、解釈の結果が即時、視覚的にとらえることを意図している。

授業中には、近くの生徒同士で話し合ったり、班で教え合ったりするなどの小グループでの活動を継続的に取り入れている。本単元においても少人数の生徒同士でグループ活動を行うことで効果的な意見交流が期待できると考える。

(4) 小学校との接続

平成28年12月の中央教育審議会答申では「国語科で育成を目指す資質・能力の向上を図るためには、資質・能力が働く一連の学習過程をスパイラルに繰り返すとともに、一つ一つの学習活動において

資質・能力の育成に応じた言語活動を充実することが重要である」 *1 と示されている。国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を短期間で育成することは難しいと考えられる。だからこそ小学校・中学校・高等学校で育成すべき資質・能力を系統的に捉え、そのうえで、それぞれの校種における資質・能力の育成に応じた言語活動を充実することが重要である。現行の学習指導要領においては、小学校第1学年から中学校第3学年までの各領域・指導事項が系統的に整理され、再配置された背景からも9年間を見据えた指導に重きを置いていることが伺える。また、教科書改訂に伴い、小学校では令和6年度、中学校では令和7年度から光村図書の教科書が採択され、千葉県としてより系統性を意識した学習活動が可能となっている。

本単元では、文学の解釈の指導に焦点化した授業を構築している。淑徳大学青山由紀氏は、物語の授業づくりにおいて「読みの要素」の系統性を示している。「叙述や表現に即しイメージ化して読む」「物語を構造化して読む」「書き手の意図を読む（自分にとっての意味や価値を見出す）」の過程を通して、系統的に物語を読むことを示している。児童が、文章を対象として、主題や題名の意味などについて叙述を根拠として表現する活動が深い読みに誘うことにつながるだろう。教科書（光村図書）では小学校第1学年の「くじらぐも」や第2学年の「スイミー」、第3学年の「まいごのかぎ」や第4学年の「一つの花」、第5学年の「たずねびと」や第6学年の「海の命」など文学作品における解釈の教材も系統的に示している。小学校での指導の過程を経て、中学校ではより深化・拡充をねらいたい。

小学校で身に付けた読み方を土台として、(中)第1学年「イ場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。」を経て(中)第2学年「イ目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。」を目指す。本単元では、次期王にふさわしい人物を選ぶという言語活動を通して、本文を根拠としながら、生徒一人ひとりに言動の意味を考えさせ、生徒の読みの確立を図っていききたい。国語科で育成を目指す資質・能力の向上を図るために、学習者がこれまでに積み重ねてきた資質・能力とこれから育成される資質・能力を踏まえながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導を目指したい。

6 指導と評価の計画（6時間）

| 時 | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
|--------|--|--|--------------|
| 1 2 | ○本文を通読する。 ○場面構成や登場人物の設定を確認する。 ○一次投票を行う。 | | |
| 3 4 | ○次期シラクス王にふさわしい人物を考える。 ○登場人物の次期王に「ふさわしい」言動を整理する。 | [知識・技能] [思考・判断・表現] | ワークシート |
| 5 | ○分類したものをグループで共有する。 ○他の生徒の発表を踏まえ、この後の交流の準備をする。 | [主体的に学習に取り組む態度] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度] | 観察 ワークシート |

| | | | |
|---|--|------------|--------|
| | ○考えたことをもとに再度話し合う。 | | |
| 6 | ○次期王にふさわしい人物を選び、投票する。 ○投票結果を確認する。 ○単元の振り返りをする。 | [思考・判断・表現] | 投票フォーム |

7 指導計画

| 時 | 主たる学習活動 | 指導上の留意点 | 評価基準・評価方法 |
|--------|--|---|---|
| 1 2 | ○学習のねらいや進め方をつかむ。 ○本文を通読する。 ○場面構成や登場人物の設定を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で身に付けたい力と、学習の進め方を伝える。 ・それぞれの登場人物の言動に線を引きながら範読を聞くよう指導する。 ・ワークシートを使用し、場面や物語の流れを確認させる。 ・登場人物の基本的な設定をワークシートに整理させる。 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>本文の内容から数年後、シラクスの町では次期王を決めることになった。そのために町内会議を開くという設定で次期王にふさわしい人物を決定することを伝える。</p> </div> <p>○世論調査（一次投票）を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現段階で次期王にふさわしいと考える人物をフォームで投票させる。 | |
| 3 4 | ○次期王にふさわしい人物を選ぶ。 ○登場人物の次期王として「ふさわしい」言動を整理する。 ○整理した言動をもとに王にふさわしい人物を決定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・王としてふさわしい言動を根拠に次期王を一人決めさせる。 ・次期王としてふさわしい言動をワークシートに整理させる。 ・整理した言動から、「どのような王になるか」、「シラクスの町をどのようにしてくれるか」を考え、次期王にふさわしい人物を考えさせる。 | <p>[知識・技能]</p> <p><u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、本文を読み、自分の考えと結びつけて解釈しようとしているか確認する。 <p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、積極的に本文を読み、登場人物の言動を読み取ろうとしているかを確認する。 |
| 5 | ○世論調査の結果を確認する。 | ・以前の投票結果を確認し、これまで | [思考・判断・表現] |

| | | | |
|------|---|---|---|
| (本時) | 認する。 ○選んだ人物とその理由を発表する。 | の学習の振り返りを行う。 ・3～4人のグループに分ける。グループはなるべく異なる登場人物を選んだ生徒同士がいるように事前に指導者が割り振っておく。 | <u>ワークシート・観察</u> ・ここでは、自分が選んだ物の言動について、根拠を明確にしたうえで伝えているか確認する。 <small>[主体的に学習に取り組む態度]</small> |
| | ○他の生徒の発表を踏まえ、この後の交流の準備をする。 ○再度グループで話し合う。 | ・意見を聞いて共感したことや疑問に思ったこと、他の「候補者」を選ばなかった理由等をワークシートに記入させる。 ・個人で考えた疑問や他の「候補者」について話し合いを行う。 | <u>ワークシート・観察</u> ・ここでは、他者の意見を参考も参考にしながら、自分の読みを深めようとしているか確認する。 |
| 6 | ○王にふさわしい人物を決定し、投票する。 ○単元の振り返りをする。 | ・これまでに整理した言動やグループでの交流をもとにワークシートに自分の意見をまとめさせる。 ・ふさわしい人物、理由、根拠を記入しフォームで投票させる。 | [思考・判断・表現] <u>ワークシート</u> ・ここでは、様々な解釈をもって読むことで印象が変わったり、発見があつたりしないかを確認する。 |

8 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・登場人物の言動に注目して、王にふさわしい人物を考える。

[思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ

(2) 本時の展開 (5 / 6 時間)

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価方法 |
|------------|----------------------------------|---|--------------------------------|
| 導入 (5分) | ○本時の学習の見通しを持つ。 ○一次投票の結果を確認する。 | ・前時のワークシートや一次投票の結果をもとに、本時の活動内容と目的を理解させる。 ・前時のワークシートを振り返り、自分が選んだ人物となぜその人物が王にふさわしいと思うのかを確認させる。 | |
| | 町内会議を行い、次期王にふさわしい人物を選ぼう。 | | |
| 展開 | ○王にふさわしい人物は誰かを3～4人のグル | ・これまでに整理した言動をもとになぜその人物を選んだか、次期王がどのよ | [思考・判断・表現] <u>ワークシート・観察</u> |

| | | | |
|----------------------|---|--|--|
| | <p>ープで発表する。 (2分×4人)</p> <p>○他の生徒の発表を踏まえ、この後の交流の準備をする。 (15分)</p> <p>○再度グループで交流する。(10分)</p> | <p>うな町にしてくれるか、根拠となる言動とともに伝えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> メンバーの発表から共感したこと、疑問に思ったことや質問したいこと、他の「候補者」を選ばなかった理由を考え、ワークシートにまとめさせる。 発表を聞いて意見が変わってもよいことを伝える。変わった場合は、再度王としてふさわしい言動をもとに理由を考えさせる。 ワークシートの「次期王にふさわしい人物の言動を読み取ろう」の箇所を印刷しておき、メンバーの意見を視覚的に捉えられるようにする。 個人で考えた質問や疑問、他の「候補者」についての意見を交流させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ここでは、自分が分類した人物の言動について、根拠を明確にしたうえで伝えているか確認する。 <p>[主体的に学習に取り組む態度] <u>ワークシート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは、積極的に自分の考えを相手に伝えたり対話したりして、自分の読みを深めようとしているか確認する。 |
| <p>まとめ (10分)</p> | <p>○本時の振り返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 2回目の交流を経て、意見をワークシートにまとめさせる。 次回は、王にふさわしい人物を投票することを伝える。 | <p>[思考・判断・表現] <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは、言動を根拠にして次期王にふさわしい人物が考えられているか確認する。 |

(2) 本時の評価規準

- 登場人物の言動に注目して、王にふさわしい人物の解釈ができている。

[思考・判断・表現]

*1 中央教育審議会「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」，2016年。